



3月号

令和6年2月22日  
横浜市立星川小学校  
校長 五十嵐 玲  
TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



「1年間、ありがとうございました。」

～令和6年度もよろしく願っています。～

校長 五十嵐 玲

令和5年度も、残り1か月ほどとなりました。3月19日(火)には、「第151回 卒業証書授与式」、3月25日(月)には、「令和5年度 修了式」が予定されていますが、教職員一同、最後まで、子どもたちの成長を全力で支えていきたいと思ひます。

さて、令和5年度も、まだ1か月ほどありますが、今年度の本校の教育活動について、少し振り返っていきなさいと思ひます。今年度の教育活動は、新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ解放され、より自由度の高い充実した教育活動を実施することができました。例えば、給食の場面では、子どもたち同士が対面で会話を楽しみながら食事をすることができるようになったり、星の子運動会では、昨年度より多くの保護者や地域の方々にご参観いただき、子どもたちの輝く姿をご覧いただいたりしました。このような充実した教育活動を進めていくことができたのも、保護者の皆様、そして、地域の皆様のご支援・ご協力があったからこそだと思ひます。この場を借りて、これまでの多大なるご支援・ご協力に感謝申しあげたいと思ひます。誠にありがとうございました。

ところで、今年度の学校だより「ほしかわ」4月号には、次のように記しました。

「新学習指導要領が実施されてから3年が経過しました。そこで、本校では、これまでの教育活動を振り返るよい機会と捉え、新学習指導要領の原点に立ち戻って『子どもが主語となる学校づくり』をテーマとし、様々な教育活動を見つめ直すことを通して、学校教育目標(「かしこく なかよく たくましく とともに進む星の子」)の実現に向け、より質の高い教育活動が営まれるよう、一層、努力してまいりたいと思ひます。」

上述の通り、本校では、この1年間、「子どもが主語となる学校づくり」をめざしてまいりました。

そのため、教職員の「子どもを学校の教育活動の中心に据えていこう」という意識は、ずいぶんと高まったように思えます。しかしながら、その具現化という点では、まだまだ創意工夫が必要であると考えております。そこで、次年度も、より一層、子どもたちの思いや願ひ、または、考え



を1時間、1時間の授業を中心に様々な教育活動へと生かすようにし、より主体的な「かしこく なかよく たくましく とともに進む星の子」となるように努力していきなさいと思ひます。令和6年度も、本校の子どもたちのために、保護者の皆様、そして、地域の皆様のご支援・協力を賜りますよう、よろしく願ひいたします。